

事務局 札幌市西区西野
7条2丁目1-2
斎藤 彰方
TEL 090-3773-8824

発行責任者
会長 竹田正直
北大教育学部同窓会

転換期にあつて新たな 展望を求めての自己変革 — 多様な質保証のとりくみ



教育学研究院長・教育学部長
姉崎洋一

はじめに

北海道大学教育学部および大学院の同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。

大学院・学部を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まず、最初に申し上げなければならぬのは、3・

11東日本大震災についてであります。これを書いていける時点で、被災日から既に六ヶ月を経ました。多くの報道がなされていますが、

M・Oの大地震と津波、またそれに誘発された福島第一原発事故によって、戦時を除けば、平時の日本社会が経験したことの無いよ

うな未曾有の惨禍と被害が生じました。同窓会員におかれましては、ご家族やご親族あるいは知人、友人の方々の中に犠牲になられ

た方や、被災によつて甚大

な被害を受けられ、住まいや仕事を失われ避難を余儀なくされている方がいらっしゃるかも知れません。部

局を代表して、今回の震災のすべての犠牲者、被災・

被害に遇われた方々に、心からお悔やみとお見舞いを

申し上げます。現在、大学

として、学部生や大学院生において本人及び家族が震災で被災したりした場合、

必要な支援をとつていています。

また、本部局としては、北海道に避難して来られた方

の中で被災関係者の心理相談については、申請に基づいて無償措置をとつていま

す。電話相談もフリーダイヤルを開設しているところです。震災に関するプロジェクト研究についても、

本部局として何が可能かの検討をしているところです。まず、退職される方です。が、今年の春には、定年でお辞めになつた先生はございません。ただし、年金に關する国の法律の関係上、慣例上、このことに最初に触れられていますので、私もそれを踏襲させていただ

ます。

一 人事往来

さて、次に、部局内の異動をお知らせしたいと思います。「同窓会だより」では、

今年から定年後の特任教授もそれを踏襲させていただ

ます。退職される方です。教授がなられました。この制度は、定年後のご本人の希望を尊重して特任教授として引き続き本学にご貢献していただきか、新たな人生の出発をしていただかを選択できるようになって

H23年度北大教育学部同窓会総会・懇親会の「案内」

日時 平成23年10月22日(土) 13時から15時
会場 中国料理「満漢樓(マンカンロウ)」
(札幌市中央区南4条西5丁目)

TEL 011-522-5788
東急インプラザ109 2F

*総会後、現在ご活躍中の同窓生の講演を企画しております。

今回は、日置 真世(ヒオキ マサヨ)さん

です。1993年体育計画ゼミを卒業され、

釧路でNPO法人を立ち上げ拡大させた後、

今年3月まで北大大学院教育学院の助教授を務め、現在はフリーでご活躍中です。

会費 * H22、23年卒業・修了の方、及び学生・院生
は特別会費2000円とします。

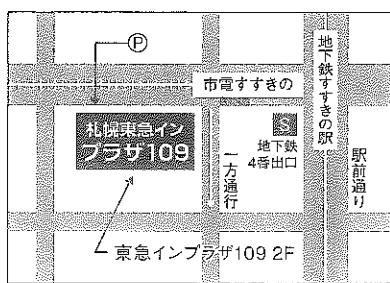
是非お誘いあわせの上ご参加ください。

*年会費未納の方は、あわせて2000円を納

入ください。

連絡先 (幹事) TEL 090-3773-8824
札幌市西区西野7条2-1-1-2

TEL 090-3773-0037
斎藤 彰 (サイトウ アキラ S55教育行政卒)



中国料理「満漢樓(マンカンロウ)」
Tel 011-522-5788

*車イスご利用の方はあらかじめお申し出下さい。
※お車でおこしの方は、東急インの駐車場がご利用いただけます。
(ただし飲酒される方は、ご遠慮下さい)

おり、今後の数年間、「団塊」世代の人々が続きますので、幾人もの方々もこの制度の洗礼を受けていくことになります。

次に、六月七日に、名譽教授授与式が行われました。新たに逸見勝亮前副学長、鈴木敏正教授の両先生が名誉教授になられました。逸見先生は、学部長・研究科長の後に、二期に亘る副学長の務をお務めになり、現在は参与の職に就いておられます。

代わって、学内異動（教育学院所属）になりますが、四月から新たに加わっている先生は、斎藤美香講師（保健管理センター）と瀧澤一騎准教授（高等教育推進機構生涯学習開発研究部）のお二人です。斎藤先生には、新たに開設された臨床心理学講座で、臨床心理士養成と大学院教育に力を添えいただいています。瀧澤先生には、トレーニングやコンデショニングの手法を用いて、sports for all の精神での研究を進めています。

また、新任として一〇月一日付けて、守屋淳教授（学習・評価論 現在兵庫県立大学教授）が着任されます。

「子どもが学ぶ主体であり、それを支えるのが教師の役目である」ということを基本認識にされています。教育という場において、子どもたちや大人たちがどのような経験をしているのかをありのままに（現象学的アプローチ）、またどのようにその関わり方（実践的アプローチ）をしているのかを探求する研究をされてきました。部局に新しい風を吹き込んでいただきこうと考えています。

二 転換期における教育学部局の新たな変革・革新課題

次に学部・大学院の当面の課題、さらには現在進めている事業について、ご紹介したいと思います。

第一は、中期目標・中期計画の新たな質的革新と向上の課題です。国立大学法人化以後、大学は、六年間を一つの区切りとして、中期目標・中期計画を立て、その評価に基づいて次期の計画を構築するというサイクルが課されています。「大学評価・学位授与機構」による本部局への第一期中期計画の確定評価について、結論だけを報告いたします。

と、大学院と学部の「教育」については、「期待される水準にある」、「研究」については「期待される水準を上回る」と評価を受けています。

これを受けて、現在、第二期の新たな目標には、次の目標を掲げています。

例えば、「研究」については、①教育実践の現代的課題と教育学研究の国際的共通課題の解決にあたってリーダーシップを發揮し、研究を推進する、②子ども発達臨床研究センターを融合研究の拠点とし、教育実践諸機関との協働的な研究のために連携体制を構築する、を立てています。

「教育」については、「大学院」では①教育に関わる研究者と高度専門職業人を養成するために、よりふさわしい教育課程の再編成を行うとともに、国際化に対応する多様な入試制度と選抜方法を整備する、②現在の講座体制をさらに整備、充実させ、研究者と高度専門職業人を養成するのにふさわしい教育実施体制を編成する、③課程博士学位取得者を増加させ、大学院生の就職率を向上させる、としています。

「教育学部」の「教育」については、①教育の現代的課題の解決に資する人材の育成をめざして、全学教育、専門基礎教育、専門教育を質的に向上させるとともに、入学者選抜に関することができる教育実施諸制度を改善する、②幅広い視野から教育課題に接近することができる教育実施体制を整備する、③学生の修学、及び進学・就職に関する支援体制を整備する、としています。

以上の「研究」と「教育」の個々の内容については、具体的には何をするのか、どのような目玉を打ち出していくのかを、各委員会にお諮りするとともに、部局構成員の方々の智恵を寄せいただき、時代にふさわしいイメージをふくらませて、目下計画の推進にあたっているところです。

組んで来ましたが、概算要求等の特別経費などの確保にはもう一工夫が必要になりました。

第四は、本部局の地域開放、社会連携の取り組みがあります。毎年八月の大学オーブンデイの際には多くの高校生や父母の方々、市民の参加を頂いています。

また今年から、高校生一日体験入学も、例年の六月実施から八月のこの企画の二日目に実施し、多くの参加を頂きました。なお、地域連携、社会連携については、部局と諸機関、団体等との包括連携協定締結を含めて新たな拡大を強める所存です。その意味では、同窓会の方々の、ご助言やお知恵などの力添えは大変に心強いものです。今年からは、同窓会役員に、部局教員も加わらせて頂くようにお願いして、役員会で了承頂きました。近藤健一郎先生にその任に就いていただいています。積極的な声をお寄せください。なお、まことに厚かましいお願いですが、同窓会会員におかれましては、「北大フロンティア基金」に対してご協力を頂けますと幸甚です。その際に、「特定資金」として、「学

部等支援」を選択いただき「教育学部（研究科）」とご記入いただけますとまことに嬉しく存じます。

最後に、同窓の皆様におかれましては、今後も各界でのいっそうのご活躍を祈念いたしますと共に、なに

ぞ、お知恵、ご助言、お力を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。以上長くなりましたが、会報へのご挨拶とさせていただきます。

(101年9月15日)

同窓会長

竹田正直



喜びを糧に、
悲しみを忘れずに

鶴川町に生まれ（一九三〇年九月二二日）、北海道大學理學部および大學院理學研究科修士・博士課程を修了し、工学部で教授として研究した方であることが、佐伯浩北大総長が言うように、「百三十年の本学の永き歴史において卒業生からの初のノーベル賞受賞者であり、その喜びもいつそう大きなものでした。

教育学部同窓生では、当時、総務・広報担当の逸見勝亮北大理事・副学長（今

年三月末で退任し、現在参事）が、喜びの中にもマスメディア対応で多忙な日々を送りましたし、当時の所長・教育学院長・研究科長・学部長はじめ、学部の教職員、学生・院生・研究生も、さまざまな機会を通じて優勝した北大漕艇部に、

（1）鈴木章名誉教授のノーベル賞受賞

この一年、北海道大学関係者のみならず、日本の多くの人びとにとつて、大きな喜びの一つは、スウェーデン王立科学アカデミーが、

高村泰雄名誉教授は、私より三代前の学部長・研究科長ですが、物理と化学の違いがあつても理学部出身ですから、また、鈴木章教授とは同年代でしたので、受賞理由の「有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応」についても良くご存知で、北海道内各界の異業種交流の場である「北を語る会」でも「鈴木カップリング」理論を解説していた

ときました。私は、鈴木教授とは個人的交流はありませんでしたが、娘が、鈴木教授の次の方と高校時代の友人でお宅にもお邪魔して鈴木教授にもお会いしたとのことでした。

初めてロシアへ行ったのは、一九六三年、大學院博士課程のときで、モスクワ大学へ短期留学しましたが、そのとき、知り合ったモスクワ大学の化学の大学院生が、日本の堀内寿郎教授の

庫（現在のガトーキングダムの少し上流で、現在の艇庫の対岸）で合宿し、連日、朝五時から二時間、夕方五時から二時間、茨戸で朝夕二回舟を漕ぎ（日中は教室で舟を漕ぎ）の日々でした

が、そのとき、部長・監督・コーチとして、毎日、茨戸に来てモーターボートで指導してくれた堀内教授について、鈴木章教授の永年

共同研究者である北大工学研究院宮浦憲夫特任教授がある新聞の談話で、北大には、堀内寿郎教授が築いた触媒化学の世界的研究の伝統があり、その伝統の上に鈴木章教授の研究が発展したのです、と述べています。

北大の化学研究の歴史を发展させた鈴木章教授のノーベル賞受賞が、今度は、北大のみならず、日本全国の青少年に大きな夢と希望を与ええたことは疑いなく、

彼らが、鈴木章教授の研究と、その誠実で豊かな人間性を糧として、将来、国際的にもいつそう豊かな人間教育と研究の成果をもたらすことを確信しています。

私は入学の日に入部し、一年目は、選抜クルーの二人の補欠の一人として、二年目は、オリンピックイヤーで、オリンピック候補クルーと目された北大クルーの四番漕手でした。茨戸艇

りをより大きく抱いたことでしょう。今年五月からは、姉崎洋一教育学院長・研究科長・学部長が、その誇りを受け継いで、教育学院をさらに発展させるに違いないませんでした。

北大の化学研究の歴史を发展させた鈴木章教授のノーベル賞受賞が、今度は、北大のみならず、日本全国の青少年に大きな夢と希望を与ええたことは疑いなく、

彼らが、鈴木章教授の研究と、その誠実で豊かな人間性を糧として、将来、国際的にもいつそう豊かな人間教育と研究の成果をもたらすことを確信しています。

表されると、直ちに、すべての論文がロシア語に翻訳されるといつていたことを思い出しました。当時、ロシアのフルムキン教授とともに世界三大触媒化学学者といわれているとのことでし

た。二〇一〇年のノーベル化学賞を鈴木章北海道大学名誉教授に贈ると発表したことです。授賞式は二月一〇日（金）にスウェーデンで行われ、カール一六世グスタフ国王からノーベル賞の金メダルとディプロマ

一五〇人の参加で行われ、私は、日本ユーラシア協会（日ユ協会）会長として、九人の副会長の一人が嵐圭史前進座幹事長なので、数人の役員とともに祝賀会に参加したのです。由緒ある東京會館での盛大な祝賀会で、一人ほどの来賓、松竹社長や国立劇場理事長、歌舞伎や映画の著名な俳優とともに、北大教育学部卒業生の脚本家、山本むつみさん（本名、山本睦、NHKの朝ドラ「ゲゲの女房」や来年の大河ドラマの脚本執筆）が、千名以上の参加者の中で、子どものころの前進座との出会いや前進座創立八〇周年記念一〇月公演「明治おばけ暦」の脚本執筆など、立派な挨拶をしていました。会場で、山本睦さんや嵐圭史さんとも歓談できました。

三月一日の「巨大震災」のときは、自宅に居りましたが、札幌でも、これまでに感じたことのない大きな揺れでした。テレビで、巨大津波（一〇メートルの高さ、最大三八メートルの高さまで押し寄せた）が、人や動物、車や家屋、樹木や美田を飲み込み、さらには、仙台空港をも襲つてお渡ししました。艇やオールの高価なボート競技

た状況を見ましたが、とても信じられない思いでした。後に千年に一度と報じられましたが、福島原発事故は未會有のことです。

一万五千人以上の死者、四千人以上の行方不明者をふくめ、二万人以上の犠牲者、数十万人の避難者といふ未會有の大災害で、心からお見舞い申し上げます。札幌にも二千人以上の方が東北各県から移住ってきております。

北大教育学部では、教職員、学生、院生の直接の犠牲者はいなかつたのですが、他の学部で、郷里に帰省していく犠牲になられた学生がいたとのことで、直ちに、政府、自治体、多くの諸団体が救援活動、復旧活動に取り組み、私も十ほどの諸団体の義援金に応募しました。北大漕艇部と毎年、定期戦を行っている東北大學漕艇部は、冠水した仙台空港のすぐそばにあり、壊滅的の被害を受けました。「三月一日」の後、多くの欧米の音楽家や芸術家が、放射能を恐れて、公演をキャンセルするなかで、ネルセシアン教授は、すぐさまに、巨大災害へのお見舞いの言葉とともに、必ず公演しますし、当日、予定プログラムの前に、まず、犠牲者の鎮魂をこめてショパンのレクイエムを演奏し、謝金の一部は義援金にしてくださいとのことでした。

（3）東日本大震災救援チャリティコンサート
昨年三月から私が会長をしている国際友好ヴァオランティア団体の日ユ協会では、モスクワ音楽院教授パーゴエル・ネルセシアン・ビアノコンサートを、五月に、東京、所沢、名古屋、大阪で、一〇月に、金沢（二〇日）、函館（二二日）、苫小牧（二五日）、札幌（二六日）、釧路（二七日）、帯広（二八日）と、全国一〇箇所での公演を予定しておりました。「三月一日」の後、多くの欧米の音楽家や芸術家が、放射能を恐れて、公演をキャンセルするなかで、ヨーロッパで音楽を学んだ若手音楽家を支援するとともに、市民に格安でクラシック音楽に親しんでいた世界的作曲家伊福部昭（元東京音楽大学学長、今年から教科書にも載った、初のオーケストラによる映画音楽『ゴジラ』の作曲家としても有名）のクラシック音楽の普及を目指して、「し

四会場とも満員で演奏も大好評でした。とくに、東京文化会館での五〇〇人の聴衆のうち、プロのピアニストや音楽大学の教員が約七〇人も来場し、彼の演奏を絶賛しました。日ユ協会が行つた東北各県連・支部への義援金とは別に、公演会場でも沢山の義援金が寄せられ、岩手、宮城、福島、各県の災害対策本部に届きました。

東京と大阪には、私も、札幌から出かけて聴きましたが、東京公演では、学部卒業生の山岡憲さんと和枝さん、大阪公演でも学部卒業生の浅田正典さん、初美郁子さん（前衆議院議員）など沢山の懐かしい方とお会いすることが出来ました。

他にも、私はアジアと北大教育学部の同窓生でした。ほかにも、数人が市民活動の部署で活躍しているとのことです。北大教育学部の広い視野での人間形成が豊かな果実となつていることを感じた出会いでした。

日本外務省の三月二六日の発表によると、外国救援隊は、ロシア一五六人、米国一四四人、仏国一三四人、韓国一〇七人など十数カ国から来てくれました。九月一七日～二五日、ペラル（平成八）年九月に博士後期課程を修了しました。そして一〇年のときを経て、

幌ユーラシア音楽クラブ（愛称・さっぽろ遊音）を作り、代表をしています。日本文化交流、日本発祥の障がい者スポーツ「ブラインドテニス」の普及などを、日ユ協会代表団二六名の一員として行い、かつ、国際支援への感謝とともに、わが国の復興への歩みを知らせ、「ノーモア、ヒロシマ、ナガサキ、チエルノブリ、フクシマ！」を訴えてくる予定です。三月一日の悲しみを、決して忘れずに歩み続けましょう。（完）

ごあいさつ



教育史・比較教育ゼミ准教授

ム」に参加し、研究発表、日本文化交流、日本発祥の障がい者スポーツ「ブラインドテニス」の普及などを、日ユ協会代表団二六名の一員として行い、かつ、国際支援への感謝とともに、わが国の復興への歩みを知らせ、「ノーモア、ヒロシマ、ナガサキ、チエルノブリ、フクシマ！」を訴えてくる予定です。三月一日の悲しみを、決して忘れずに歩み続けましょう。（完）

幌ユーラシア音楽クラブ（愛称・さっぽろ遊音）を作り、代表をしています。日本文化交流、日本発祥の障がい者スポーツ「ブラインドテニス」の普及などを、日ユ協会代表団二六名の一員として行い、かつ、国際支援への感謝とともに、わが国の復興への歩みを知らせ、「ノーモア、ヒロシマ、ナガサキ、チエルノブリ、フクシマ！」を訴えてくる予定です。三月一日の悲しみを、決して忘れずに歩み続けましょう。（完）

二〇〇六(平成一八)年一月から教育学部の教員をしています。所属は現在の言い方では学校教育論講座、方では史ゼミで、近代沖縄教育の研究を院生のときから続けているほか、教師養成に関する研究と教育も重要な仕事です。研究室は四〇四、この同窓会誌上では最も有名な部屋です。

大学教員になつて一五年になりますが、大学という場所は卒業生に支えられています。卒業生の活躍が、大学・学部への信頼を高めてくれていると感じるからです。大学教員としては、卒業生にそのお子様も北大へと思つてもらえるように、日々の教育に努めることが大切かと思います。学部と同窓会を結ぶ役割とは具体的にどのようなことなか暗中摸索ですが、その初心を述べました。

それでは、どうぞお見知りおきを。

特殊教育の祖「奥田三郎先生」について



平成一五年三月
北大大学院博士課程修了
市澤 豊
はじめに

社会福祉学の一一番ヶ瀬康子さんは「福祉は人なり」と説き、「一方、障害者問題」「歴史は人なり」と述べています。お二人は、一九四九年に、それまで陽の目をみることの少なかつた福祉の人物伝シリーズを大空社の理解を得て編集・発刊の企画をされたのであります。それは、福祉全般、障害者福祉及び福祉教育に生きた百人の人物シリーズ構想でした。私は、縁があつて第六〇巻目に「奥田三郎先生」のことを書かせていました。

その推薦文の寄稿を北大教育学部同窓会長の竹田正直先生にお願いし、先生からは玉稿「奥田三郎名誉教授の業績と人生を知る」を戴い

かのであります。

このような経緯から、同窓会幹事会において拙書を紹介していただき機会を与えていただいた次第であります。誌上をお借りして竹田会長と幹事諸兄に衷心よりお札を申し上げます。

私は、一九六〇年から北海道内の知的障害児の特殊学級や養護学校において、理論なき実践は徒労(原典は「盲目」とある)であり、実践なき理論は空論である》を信条として教育実践に携わり一九九六年に北海道立特殊教育センターを最後に定年退職いた教育実践者です。

戦後北海道の知的障害児教育実践は、全国の識者がから「北海道方式」として一定の評価を得ておりましたので、退職後にその教育実践を史的にまとめるることを研究課題として史資料を蒐集しておりました。しかし、もとより力量不足ですが、いざ執筆に取りかかると戦前の教育実践との接続性と非接続性や占領期における影響などを解明しなければなりません。

それで、どうぞお見知りおきを。

その結果、北大教育学部同窓会長の竹田正直先生が、そのことを書かせていました。

その推薦文の寄稿を北大教育学部同窓会長の竹田正直先生にお願いし、先生からは玉稿「奥田三郎名誉教授の業績と人生を知る」を戴い

づかされたのでした。

そして、学術研究の基本を学び直したいと考えております。窓会幹事会において拙書を紹介していただき機会を与えていただいた次第であります。誌上をお借りして竹田会長と幹事諸兄に衷心よりお札を申し上げます。

私は、一九六〇年から北海道立特殊教育センターを最後に定年退職いた教育実践者です。

戦後北海道の知的障害児教育実践は、全国の識者がから「北海道方式」として一定の評価を得ておりましたので、退職後にその教育実践を史的にまとめることが研究課題として史資料を蒐集しておりました。しかし、もとより力量不足ですが、いざ執筆に取りかかると戦前の教育実践との接続性と非接続性や占領期における影響などを解明しなければなりません。

それで、どうぞお見知りおきを。

その結果、北大教育学部同窓会長の竹田正直先生が、そのことを書かせていました。

その推薦文の寄稿を北大教育学部同窓会長の竹田正直先生にお願いし、先生からは玉稿「奥田三郎名誉教授の業績と人生を知る」を戴い

この修士課程における学

びから、論文作成は「北海道方式」を形成していく三つの系譜を仮説として、そのことを実証的に論攷するという筋道が見えてきたのです。博士課程への許認可を経なければならず、それに、より高質な研究計画の策定と研究の独立が求められておりました。

そして、博士課程の主任教授は、諸富教授の退任により室橋春光教授となりました。学位請求論文提出までに三年かかり、審査、学内試験等までに一年間を要しました。学位請求論文題は、「戦前の北海道における[劣等児等の特別教育]の成立と教育実践に関する研究」であります。

入学から六年後の二〇〇三年三月二十五日、総長より学位記を授与されました。これは研究の終わりではなく、新たによちよちながら独り立ちを始めることを意味します。それから、二〇〇五年に「発達障害児教育実践論—占領期の教育職員再教育講習会等の「特殊教育講座」の検討」と城戸構想試論—」でした。

今、改めて読み直してみると、学術論文というよりは研究ノートに近いもので加筆修正が課題となつておりました。

版会、二〇〇六年には博論を加筆・修正した『発達障

害児教育実践史研究—戦前

の北海道における特別教育の成立と教育理念・目標。

内容・方法ー』を多賀出版から公刊いたしました。次いで、永年の研究課題であつた『戦後発達障害児教育実践史』を先達の優れて貴重な実践資料を付けて二〇一〇年に明石書店から出版することになりました。

院生生活は、私大の講師等を兼務しながら若い院生との専修科目の演習と研究室における研究交流など知識的財産の共有があり、図書館の書庫に潜り込んで思わず稀観本や史資料を見つけ出すなど楽しいものでした。しかし、特殊教育・臨床心理学グループの院ゼミは院生の大半が主に脳波にかかる「事象関連電位」関係の実験研究とそれに関連する外国の文献の解読に取り組んでおり、その専門用語と英文講読に四苦八苦するばかりがありました。ここでは、研究主題とその内容に関する研究協議よりは、人間科学研究の手法、論文の書き方や研究作業の進め方などを習得することができました。博士課程になつて、漸く科目の履修が緩和され自らの研究内容を月一

「婚と闘病生活」の記述がありますが、奥田先生の人間性がとてもストレートに伝わり、親近感がわきました。この頁により、さらに奥田先生の業績の厚みがましていました。市澤先生の緻密で丁寧な文章構成と論理的な文体により、明らかになつた奥田先生の生き方をしつかり受けとめ、子どもたちの教育に生かしていきたいと考えています。(以下省略)

朴仁暫
北海道大学北京オフィス副所長
平成一五年卒、教育方法ゼミ
北海道大学北京オフィス副所長
平成一五年卒、教育方法ゼミ

会員同部学教育海滌大

持続可能な架け橋へ



この度、須田力先生より伝統ある教育学部同窓会誌に寄稿を促され、教育学部や多元文化論講座の先生方、楽しいおつきあいと共にした学部生、院生の皆さんへ

学部、大学院時代を振り返りながら、これから私のが果たしたい役割について紹

ります。奥田先生の人間性がとてもストレートに伝わり、親近感がわきました。この頁により、さらに奥田先生の業績の厚みがましていました。市澤先生の緻密で丁寧な文章構成と論理的な文体により、明らかになつた奥田先生の生き方をしつかり受けとめ、子どもたちの教育に生かしていきたいと考えています。

(以下省略)

完

介させていただきます。

私は朝鮮族(朝鮮半島をルーツに持つ中国人)として、東北のハルビン市から日本に渡りました。日本語学校で二年間日本語を習い、日本語能力試験一級に合格し、最初の日本語習得という目標をクリアしました。

しかし、日本語の勉強で語学全般の不十分さを痛感しました。そこで、大好きな言語を学問として研究しようと考え、教育学部に進学しました。一九九九年に私は留学生試験に合格し、教育学部創立以来、学部に初めて入学した留学生としての榮誉を得ました。これが私と教育学部そして北大との最初の出会いです。

学部時代は教育方法ゼミに属し、良き先生と先輩に恵まれ、言語教育について研究しました。言語に対する溢れる好奇心から、英語やロシア語などの第五外国语を夢中になつて履修しました。学習を進めていくうちに、言語の背景にある文化的要素に興味・関心を持ち始めました。また、私の家系(父方及び母方の祖父母)は、かつて朝鮮半島から中国に移住した関係もあり、「越境に関する研究」

に強い関心が生まれ、研究課題にしました。しかし、学部を卒業した時点では、自分が学びたい研究分野や

「越境に関する研究」に

関するイメージや研究方法

のデザインを見出せず、思

い悩んだ末、道内の民間会社に就職しました。ちょ

うどその時、教育研究科に

多元文化教育論講座が設けられました。学部時代からお世話になつた恩師の北大名誉教授工藤正広先生から

「君にぴったり合う講座が

できたら、受けてみたら」と声をかけられ、大学院に進学することを決意しました。

通して「知る喜び」を実感しながら、研究の成果を上げるべく取り組んできました。私は越境に関与する様々な事象について関心を持ち、その領域の研究を継続してきました。そして、越境を巡る研究を通して、「他言語・他文化を知ること」、そして「物事を二項対立的にとらえること」ではなく、「相対的にとらえること」が重要であることを得ることができました。

また、私は大学院での研究に留まることなく、越境と密接に関わる国際交流活動を実践してきました。特に意識していたわけではないのですが、私が関わった国際交流は、スポーツ交流の分野が多かったです。例えば、札幌市体育協会の「日本・札幌市と中国・瀋陽市スポーツ少年相互交流事業」があります。そこでは、札幌市体育協会と瀋陽市國際体育友好協会及び瀋陽市体育局との窓口として、交流が始まつた一九九九年から連絡調整業務などを担当してきました。また、二〇〇三年から北海道ミニバレー協会で、事務局次長として、国際交流事業に参加

し、ミニバレーのロシア及び中国での普及事業にたずさわつきました。ミニバレーの普及事業の一環として、ロシアを二度訪問しました。さらに、「日中成人スポーツ大会で通訳を担当しました。二〇〇九年と二〇一〇年の大会で通訳を担当しました。大会で通訳を担当しました。このようなスポーツ交流に参加して以来、スポーツ大会で通訳を担当しました。二〇〇六年には博士課程に進学しました。これが二度目の私と北大との出会いです。二〇〇四年に修士課程に進学、二〇〇六年には博士課程に進学しました。これが二度目の私と北大との出会いです。

私は学部時代から習得した言語を活かし、外国語ボランティア活動にも参加し、理論と実践を踏まえて研究を進めてきました。特に大学院博士課程の進学を機に学内での研究と並行して、中国と韓国に研究のフィールド・ワークを求め、研究活動を展開しました。それ

月に特定専門職員として選考され、北京オフィスに赴任しました。三度目の私と北大との出会いであり、幸運にも、



院生時代、中国瀋陽市で開催された日中青少年スポーツ交流事業に通訳として参加（前列左から二人目が筆者）



2006年第18回ジャパンカップに参加する世界各地から来日したミニバレーの愛好者たち（前列右端が筆者）

様々な新しい発見の予感を感じます。北京オフィスの特定専門職員の応募は、さかのばれば二〇〇九年一月一二日に北海道大学学術交流会館で開催された国際シンポジウム「持続的アシカ社会構築に向けた日中の総合的大学間協力」に参加しましたことも契機になっています。特に、北京大学の張国有副学長が基調講演で提示した「両方の国の文化を知っている人たちの双方の関係性の構築」という構想に強く共感しました。この「双方の関係性の構築の構想」の考え方は、北京オフィスで業務を遂行する上で最も重要な指針にしていました。北京オフィスで、今まで日本に留学して学んだこと、学部時代から積極的に参加してきた国際交流を通して学んだことをフルに活かして、異なる日々の業務に邁進したいと決意しました。

私は北京オフィスの仕事の中でも、「北大への留学を希望する中国人学生に対する、北大のことを説明する」という業務については、特に留意しています。私は学部から北大に進学したことから、北大に敬愛的

な愛着を持っています。特に私を育てくれた教育学部／研究科では、言葉では簡単に言い表せない貴重な体験を数多く得ました。北京から北大を再認識した時、改めて留学して良かったと、その至高体験と共に心底から実感できます。多くの中国人学生が北大、そして教育学部／研究科に留学して、彼らも貴重な体験を得ることが出来るようにしっかりとサポートしたいと思います。

北京オフィスは北海道大学の中国での大切な窓口であります。この窓口を広く開かれたものにすること、日本中両国的人的交流が国境を越えて活発に行われるようになると、これまで国際交流に参加した経験から確信しています。私は今まで日本・札幌を拠点として、草の根の立場で様々な国際交流に参加し架け橋の役割を少なからず果たしてきました。「継続は力なり」という言葉がありますが、今後は中国・北京を拠点として国際交流の意識と専門的技量を更に高め、多くの人たちが日中両国の相互理解のために貢献できるように、日中間の教育・研究の協力を・交流における架け橋、

近況報告

一九九七年卒
身体発達研究グループ

戸 塚 博 之

北大教育学部で過ごした思い出は、つい最近のこと

のように記憶に残っています。この学部で得られたエ

ネルギーがあつたからこそ、

教育関係の仕事を楽しめて

いるのかもしれません。私は、大学卒業後、自転車で

旅をするなど気ままな就職

浪人を経て一九九九年に高校教員になりました。その

高校は、新設校だったので、

當時は机すらない校舎から始まつたことを覚えていま

す。この頃、学習障害（LD）という言葉がメディアで取り上げられるようにな

りました。学習障害とは、

基本的には全般的な知的發

達に遅れないが、聞く、話す、読む、書く、計算す

る、または推論する能力のうち特定のものの習得と使

用に著しい困難を示す様々

な状態を指すものです。そのような生徒たちを積極的に受け入れていこうとする

高校に、私は就職することになりました。とても個性的な生徒が通う学校だったりおいては、柔軟な発想が必要となることが多い、

大学時代に遊んだり色々なものを作つたりした経験が非常に役立ちました。

大学時代に遊んだり色々なものを作つたりした経験が非常に役立ちました。

大学時代に遊んだり色々なものを作つたりした経験が非常に役立ちました。

大学時代に遊んだり色々なものを作つたりした経験が非常に役立ちました。

大学時代に遊んだり色々なものを作つたりした経験が非常に役立ちました。

大学時代に遊んだり色々の

高校に六年勤務したのち、台湾の学習塾で一年間仕事をしました。日本以外で暮らす経験は、初めてでした

が世界との距離が近くなつたように思いました。帰国後、今までの経験を生かすことを考え、プラス学習舎を設立しました。この塾は、

インクルーシブ教育の考え方とともに、学習支援を

ています。発達障害をもつ生徒、とてもマイペースな生徒、大学受験を目指す生徒もいれば不登校の生徒も

います。発達障害をもつ生徒、とてもマイペースな生徒、大学受験を目指す生

徒もいれば不登校の生徒も

いたりと様々です。しかし、どの生徒も「学ぶことは楽しい」と思う感覚は同じで、

「参考ください」正負の

されば、多少勉強が苦手だつたとしても、大人になつたときに自発的に思考してみたところ、子どもたちには大喜びでした。学ぶ工夫において、効率的にユーモアを取り入れることは、非常に重要なことではないか

と思思います。教材という硬さをこえた学ぶ意欲を育む玩具を、世界中の多くの子

どもたちに広めていけば

と思います。今後は、立体

や角度、約数、速さなど算数・数学をモチーフとした

クリエイティブな仕事ができているのは、北大教育学部の学びの中で、多くの創造的思考を養わせていただいきたからだと思います。本当に改めて感謝申し上げます。

計算につまずく生徒がいる中で、どうしたら計算できようになるだろうかと思つたのがきっかけでした。初めはカードを作りなおしてみました。すると生徒たちは大好評で、遂に商品化までしてみました。最近では、小学校の授業に亞ロ（バロ）を使って遊んでも大喜びでした。学ぶ工夫において、効率的にユーモアを取り入れることは、非常に重要なことではないかと思いません。教材という硬さをこえた学ぶ意欲を育む玩具を、世界中の多くの子どもたちに広めていけばと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うと思います。教材とい

うだと思います。教材とい



力で遊んで計算力

2011年(平成23年)1月11日(火曜日)
北海道新聞朝刊 全道版 社会 26ページ

(C) 北海道新聞社 無断複写、複製及び電子化等の行為を禁ずります。

TOP

サンパウロ市がん 北大教育学部の翻訳く

(北海道・ブラジル留学生として一九九一年から一九九二年、北大教育学部に留学)

サンマリ・サコリ・カーネ

ブラジルに帰国後、何かをしなければならないと決心して実家の町を離れ、サンパウロ市に住みました。

留学を通して多くの友人を得、その友人たちは私がサンパウロ市に住むのを援助してくれました。私は翻訳の仕事に従事しました。(出稼ぎ労働者の日本語からボルトガル語への翻訳書類の作成などの仕事です)。

約三年後に翻訳の仕事からホテルの仕事に移りました。約一年後、「カブコン」という日本のゲーム企業の代理店に勤務しました。(「ストリートファイター」のゲームを「存じですか?」)

私が結婚した1000年の直後に、オーナーから「ATTRATIVA」(www.attrativa.com.br)というインターネット・ゲームの会社で働くよう命ぜられました。私は現在そこで働いておりま

私の息子は一〇歳、娘は七歳です。二人ともボーカリストの団員で、とても楽しんでいます。夫は、かつての私と同じ奨学生で、私より一年後佐賀市に一九九二年一九年三年に滞在しました。私たちの出会いは、日本の留学生で、日本の留学生奨学金のお蔭です。

まじい喧騒と恐ろしい交通量の街ですが、世界中の食材を集めたおいしさいっぱいの珍味めぐりと映画が楽しめます。」(きげんよう、サンドラより)

私たちには現在サンパウロ市のPaulista通りに住んでおります。グーグルの地図では、<http://www.google.com.br/maps?q=Rua+Fernando+de+Albuquerque>)、で検索してみて下さい。すれ

ちとめぐり合うことができ、その方々のうち何人かの方々は現在でも友人としております。

この留学のお蔭で私がどれだけ成長することができたか、言葉で言い表せないくらいです。私と出会ったすべての方々は、今もなお私の生き方を通して繋がっております。この素晴らしい一年間で経験したことす

べてが、現在の毎日毎日の私自身のより良い生き方に役立っています。このような機会を与えて下さった先生方と友人たちにあらためて感謝します。(きげんよう!!)

私が在外教育施設(いわゆる日本人学校)派遣教員を希望した理由。日本国内と同等あるいはそれ以上の教育環境が整備されるべき日本人学校において、これまでの経験を生かした教育活動を行いたい、また、海外における教育という特性を生かし、国際性豊かな日本人の育成に寄与する教育活動を行いたい。文科省で行われた面接ではこんな回答をした記憶があります。

しかし、本当の理由は、海外に住んでみたいから、そ

んな単なる好奇心でした。

派遣一年目は中一担任で

市で、私は一九九一年三月から一九九二年四月まで、北海道ブラジル協会(北海道県人会)の留学生として札幌に滞在しました。それは私の人生で驚くべき夢の実現でした。

最初に、教育学部同窓会だよりに寄稿の機会を与えさせていただいた須田力先生に感謝申し上げます。

私は一九九一年三月から大連で、ホテルの仕事に移りました。約一年後、「カブコン」という日本のゲーム企業の代理店に勤務しました。(「ストリートファイター」のゲームを「存じですか?」)

私の両親は日本人です。

二世である私は子どもの時に日本での生活がどんなにすばらしいかを聞かされました。日本人は、規律正しく親切であることも聞かされておりましたが、まさにその通りでした。私は北大教育学部で学ぶ機会を通して多くの素晴らしい友人た

や水泳授業の企画・運営を担当。練習で一度も成功しなかった組体操の四段タワーが運動会当日に成功しました。児童生徒と教職員が抱き合って涙を流しました。四ヶ月間続けられる

水泳授業は、塩素濃度の管理や複数人数による指導など、多くの教員が快く協力してくれました。美術と技術は初めて担当する教科ですから、技術指導はもちろん、教材準備や材料調達に苦労します。台湾の教材を購入しても説明書が中国語、貰い物をするにも日本語が通じません。通訳その他でお世話になつたのが現地採用の先生方(台湾人)でした。周囲に支えられ、助けられて乗り越えることができた一年目でした。

派遣二年目は中三担任で

だったと別れる寂しさより、

女会

台中日本人学校での3年間

平成五年卒業身体発達ゼミ

中島英治

ちとめぐり合うことができ、その方々のうち何人かの方々は現在でも友人としております。

この留学のお蔭で私がどれだけ成長することができたか、言葉で言い表せないくらいです。私と出会ったすべての方々は、今もなお私の生き方を通して繋がっております。この素晴らしい一年間で経験したことす

べてが、現在の毎日毎日の私自身のより良い生き方に役立っています。このような機会を与えて下さった先生方と友人たちにあらためて感謝します。(きげんよう!!)

私が在外教育施設(いわゆる日本人学校)派遣教員を希望した理由。日本国内と同等あるいはそれ以上の教育環境が整備されるべき日本人学校において、これまでの経験を生かした教育活動を行いたい、また、海外における教育という特性を生かし、国際性豊かな日本人の育成に寄与する教育活動を行いたい。文科省で行われた面接ではこんな回答をした記憶があります。

しかし、本当の理由は、海外に住んでみたいから、そ

んな単なる好奇心でした。

派遣一年目は中一担任で

だったと別れる寂しさより、

女会

は体育主任として、運動会

第29号

剥き

した。中学部生徒およびその保護者の最大の関心事は「高校入試」です。私が受け持つた中三是たったの一人でしたが、人数が多くても少なくとも手続きに不備があつてはなりません。公立高校入試は各都道府県単位で実施方法が異なり、私立高校は学校単位で異なるだけではなく、一人で数校を受験する生徒もいて、関係書類の整備は煩雑さを極めました。「この子たちの原動力は、生徒の素直さとひたむきに努力する姿です。勉強だけでなく、日常生活で模範となる中三でした。誠実にきめ細かく早めに対応することの大切さを学んだ二年目でした。

派遣二年目は教務主任という立場で、教育課程全般を管理する役割を担いました。日本人学校には、三年間の任期で派遣される個性的な教員が、北は北海道から南は沖縄県まで各都道府県から集まっています。「同じ日本から来たのか」と首をかしげてしまうほど、都道府県によつて学校文化が大きく異なるようです。また、自分のやり方を頑とした、変えようとせずに聞く耳

を持たない教員、授業がうまくいかない理由を児童生徒のせいにして自分を省みない教員、職員会議で自己主張をぶつけ合う教員…。彼らをいかにまとめて、学校教育目標の達成に一致団結して向かっていく集団にしていくか、試行錯誤の毎日が続きました。人をまとめることの難しさと面白さを同時に感じることができた三年目でした。

好奇心から始まつた三年間の台湾生活ですが、私の根底に流れている姿勢の一つは「まずはやってみよう」でした。そして、年齢的にもミドルリーダーとして期待されるようになつた今（自分でいうのも変ですが…）、「まずはやってみせよう」という気持ちも芽生えできました。これこそ、私が尊敬する北大教育学部の先生方や先輩方が一貫してつてこられた姿勢ではないでしょうか。私は無意識のうちにそれを実践しようとしています。これからも、好奇心旺盛で自ら実践する教育者でありたいと思つています。

私は留学生として札幌の地を踏み、北大で学位を取得しました。それから糸余曲折がありました。現在も札幌で仕事をし、生活を続けております。北大でのキャンパスライフは、様々なものを私に与えてくれました。待されるようになつた今（自分でいうのも変ですが…）、「まずはやってみせよう」という気持ちも芽生えできました。この間、先輩・後輩、同級生や他の留学生、そして先生方に助けられ、これまで受けたご恩をわずかに返すことが出来たのではないかと考えています。

北大では研究生として、勉強と共に日本の生活・習慣になれることから始まりました。この間、先輩・後輩、同級生や他の留学生、そして先生方に助けられ、これまで受けたご恩をわずかに返すことが出来たのではないかと考えています。これからも、自分が自身の夢に向かっていきることが出来ました。

しかし、留学生時代に生れた私の子供も成長していくことになりました。研究の面白さに気づくこと、修士課程の学生となり、先生や同じゼミのみんなと学んでいくなかで、より安定した仕事を選択することになりました。確かに中国から得られる満足感に加え、

できるようになりました。

他の人々が見いだしていい事象を明らかにしていく充足感がたまらないものであります。

この研究の面白さに目覚めましたことで、博士後期課程にも進学し、中国大型国有企業における労務管理と企業教育に関する研究を更に進めることができます。学位を取得するまで頑張ることができました。

卒業後は、駒澤大学の非常勤講師をしばらく続けておりました。この仕事は、私が北大で得たような勉強や楽しい大学生活を学生に伝えると共に、自身が充足感を得られる研究に携われる嬉しい仕事でした。この仕事を通じて、微力ながら学生たちに大学というすばらしい環境を満喫する一助となり得たことは、私のこれまで受けたご恩をわずかに返すことができました。これは私が頗りなかつたせいかもしれませんのが、たせいかもしれませんが、

大學で得られるものは、知識だけではなく、様々な方々との繋がりもあります。私が北大で過ごした期間は、今に繋がる様々な方々との出会いも提供してくれました。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りな..

山の中からこんじらば
一九九四年 産業教育訓練ゼミ卒業
石 黒 淳

の石黒です。

現在北海道の山で登山ガイドをしております。

仕事の場は主に北海道で

すぐさま本州の山にも登ります。

シーザンは六一十月中旬くらいまでです。この短い期間におおよそ一年分の売上を立てねばならず、とうてい大金持ちになれるようない職種ではありません。あと前後に一ヶ月くらいトッブシーズンがあれば違うのでしょうかけれど、そんなに甘くはありません。

北海道の夏は短く、夏山シーズンは六一十月月中旬くらいまでです。この短い期間におおよそ一年分の売上を立てねばならず、とうてい大金持ちになれるようない職種ではありません。あと前後に一ヶ月くらいトッブシーズンがあれば違うのでしょうかけれど、そんなに甘くはありません。

大学で得られるものは、知識だけではなく、様々な方々との繋がりもあります。私が北大で過ごした期間は、今に繋がる様々な方々との出会いも提供してくれました。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りなかったです。これは私が頗りな..

魚の販売・飲食店の店長)をしておりました。四〇歳を前に華麗に転職したわけですが、接客の仕事を長くしていたので、全く違和感なく仕事に入つていけました。

特別掲載

さを体験してもらえるように日々額に汗をしていると、いう近況報告でした。

ガイドの顧客の大半が高年齢者です。運動生理学的には高年齢者になるべく負担を与える運動してもらわなければいけません。ペースや休息の配分というものが非常に大切になります。

しかも、スポーツの中で「ウルトラ耐久」などといふ名前が付くものを除いて登山ほど長時間にわたる運動をするものはありません。(トムラウシ日帰りは一二時間・利尻岳往復一時間)顧客にはできるだけ運動の負荷は小さくしながら長時間にわたりパフォーマンスを続けていだく、それも六〇・七〇歳代が当たり前という世界です。

夏の熱い日などは大変な仕事になる時もあります。

しかし、大きな怪我や病気をしない限り生涯にわたくつて続けることができるスポーツです。ひとりでも多くの人に北海道の山の良

のとき、やれなかつた趣味の世界に、経験を生かしたボランティアに、高齢も捨てたものではありません。

忍 博次(54年卒)江別

市 幹事さんにはご苦労をおかけしありがとうございま

す。同窓会費などの振込

み時に、近況報告していた

だいた方々の声をご紹介し

ます。なお、ほぼ一年前の

「近況」を原文そのまま掲

載いたしますので、ご了承ください(順不同、敬称略)。

○当日予定があり参加できません。盛会を祈念いたし

ます。

長尾 肇(65年卒)札幌

市北区 待つてバタフライガーデ

ン一〇年目、とうとう宿題

を満たした夏でした。皆様

のご健勝を祈ります。

狩野 和子(68年卒)小樽市

○体調不良につき欠席いた

します。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

佐伯 進(60年卒)札幌

市中央区

○元気で平凡な生活をして

おります。

安栄 鉄男(61年卒)北広島市

○先物があり、参加できま

せん。三月に現役をおり、

自由を楽しんでます。少年

○洗礼を受けてクリスチヤンになりました。平安な毎日を過ごしています。

○今年安保闘争五〇年、

イールズ事件六〇年記念集

会が学内で開かれ、参加し

ました。明神さんほか往年の方とお酒を酌み交わしま

した。

三宅 黙(69年卒)北広島市

○長年の幹事職(札幌市役

所内部)の立場をさぼりつ

つ、ここまで来てしまいました。きちんととしたバトン

タッチをして退職したいと

思います。会への不参加申

し訳ない。

野田 龍一(75年卒)札幌市厚別区

○鑫寿が近づいてくると、

わが人生終末期のことが脳裏をよぎるようになつてきました。

龜貝 一義(60年卒)札幌市西区

○「同窓会だより」で大学・

学部の改革発展に大きな期待があります。

考えて飲み始めたる一合の二合の酒に夏のゆふぐれ

四季それぞれに酒も楽し

みながら新しい自分と付き合うこのごろです。

竹田 正直(59年卒)札幌市東北区

○「二一世紀は日本が世界

一」という本を見たことがあります。いつの間にか「心

を清らかにヒューマニズムで生きる」という目標が消えたのでしょうか。もつと理想を持てる若者を育てないとボーアイズビーアンビシャスを。

前田 憲(64年卒)名寄市

○この春に現役をリタイア

して、スローライフを送っ

ています。多くの束縛から解放された自由な生活も悪くないね。

朝川 淳一(75年卒)札幌市南区

○今年安保闘争五〇年、

イールズ事件六〇年記念集

会が学内で開かれ、参加し

ました。明神さんほか往年の方とお酒を酌み交わしました。

伊藤 則博(62年卒)札幌市厚別区

○往事茫茫。卒業して半世

紀経ちました。今も社会福

祉系専門学校やカウンセ

ラー養成施設で非常勤講師

をしています。学部の一層

の発展を…。

長峯 憲二(60年卒)札幌市中央区

○また会えることを楽しみにしています。

有坂 淳一(56年卒)登別市

○気がつくと会が終わって

いて、今さらですがお返事を差し上げます。この四月から生活保護の検査指導業務に戻りました。ホームレス、失業など国の失政に巻き込まれた人々を個別支援する日々です。

田中 稔久(83年卒)兵庫県神戸市

○香港で商社を興して一四

年になりました。商売環境は厳しいですが、経済成長がめざましい中国の隣で何とかやっております。

兼田 環(90年卒)岐阜県岐阜市

○残念ながら欠席します。

現在一二種類の薬を服用している状態です。皆様によろしく!

平澤 寛(56年卒) 札幌市南区

○ここ数カ月で教育学部の後輩二人にお会いしました。

一人は次男の幼稚園のPTA、T氏。二人目はサークル設立三〇周年講演会にてH氏と。同窓会担当者のごとく、会報に一筆寄せることを勧誘しました。今年度お二人は掲載されているのでしょうか。

愛甲 知佐子(92年卒)

札幌市中央区

○今年こそはと思つていま

したが、幹事さんすいません。今、札幌駅周辺に小さなゲストハウス＆研究所をつくるべく邁進途上です。大変ですが、本当にやりがいがあります。

北守 昭(76年修士修了)

札幌市北区

○かねてよりの計画どおり、六〇歳をもつて会社を退任し、たっぷりの時間を得ました。(今のところは)。本

を大々的に処分。すかすかの書棚をまた埋めていくことが楽しみです。

高木 哲郎(59年卒) 千歳市

○ノーベル化学賞に鈴木章名譽教授が決まつたニューヨス、心が躍りました。その後マスコミ報道で逸見副学

長がたびたび登場、元気なか書いてください!

○過ぎ去った日々あり、今日あり、明日またあり、です。

昨年投稿した私の文章

「天皇行幸地元碑をわれらの北大の観光ポイントにしてよいのか」(大意)に対し、

A、T氏。二人目はサークル設立三〇周年講演会にてH氏と。同窓会担当者のごとく、会報に一筆寄せることを勧誘しました。今年度お二人は掲載されているのでしょうか。

愛甲 知佐子(92年卒)

札幌市中央区

○今年こそはと思つていま

したが、幹事さんすいません。今、札幌駅周辺に小さなゲストハウス＆研究所をつくるべく邁進途上です。大変ですが、本当にやりがいがあります。

北守 昭(76年修士修了)

札幌市北区

○かねてよりの計画どおり、六〇歳をもつて会社を退任し、たっぷりの時間を得ました。(今のところは)。本

を大々的に処分。すかすかの書棚をまた埋めていくことが楽しみです。

高木 哲郎(59年卒) 千歳市

○ノーベル化学賞に鈴木章名譽教授が決まつたニューヨス、心が躍りました。その後マスコミ報道で逸見副学

長がたびたび登場、元気なか書いてください!

様子を知ることができました。

国吉 昌晴(66年卒) 東京都西東京市

○相変わらずいろいろ多忙で、あわただしい老後です。

人の役に立つてあるからだ、と言われますがいつまでも続くのでしょうか。祈ご盛会。

鈴木 尚(56年卒) 京都府京都市

○現在、札幌南高校に勤め重だと存じます。小生、童話作家として、環境と平和のための行動をする人として、老化と同居しつつ、生きております。

奥田 尚(96年卒) 札幌市清田区

○二〇年ぶりに精神科の臨床現場に戻り、試行錯誤の毎日。思春期を担当し、毎日充実した濃密な時間を生きています。

児玉 金房(75年卒) 札幌市白石区

○札幌の初雪のニュースが流れました。幸の札幌が懐かしいです。ご盛会を祈ります。

高木 哲郎(59年卒) 千歳市

○かねてよりの計画どおり、六〇歳をもつて会社を退任し、たっぷりの時間を得ました。(今のところは)。本

を大々的に処分。すかすかの書棚をまた埋めていくことが楽しみです。

亘理 陽一(02年卒) 静岡県袋井市

○いつも「同窓会だより」を楽しみしております。

遠方につき出席できませんが、気持ちちは北大の高い空に馳せています。

秋山 祐子(97年卒) 兵庫県明石市

○毎年ご案内をいただきながら、欠席ばかりで申し訳ありません。卒業して三六年、福島県庁に勤務して三年目。授業で教えた生徒たちが教育学部の後輩になっています。

奥田 尚(96年卒) 札幌市清田区

○二〇年ぶりに精神科の臨床現場に戻り、試行錯誤の毎日。思春期を担当し、毎日充実した濃密な時間を生きています。

武田 達也(83年卒) 長野県岡谷市

○西井さん、名前を挙げていただいて恐縮です。汗かきべさかき、日一杯背伸びして教育・研究しています。

鈴木 章(76年卒) 千歳市

○一石三鳥型の渡道、すでに七月初旬訪札、二、三年後には同窓会のみ出席による故郷行きも考えたいと思います。皆さんによろしく。

牛島 康明(74年卒) 千葉県千葉市

○現在、福岡にて勤務中です。

今 啓亮(10年卒) 北広島市

○至極元気で晴耕雨読の生活をエンジョイしています。

「同窓会だより」を楽しんでおります。多謝。

所先生は、ロシアからお見えの教育大学教官との懇談

会の席上、堪能なロシア語で通訳兼コーディネーターをお務めになり、日露戦争

を講座体制へを知りました。このことと関係ありますが、卒業生ですでに退職してい

るOBに土曜日などに二コマの「生きた授業」をボランティアで受け持つてもらつたらいいかがでしょうか。私が良ければ、社会福祉の現場経験をもつて退職後、ある大学で社会福祉論とカウンセリング等の講師約一〇年の経歴がありますが(ほけないうちに)。

板谷 國康(58年卒) 札幌市厚別区

○味の素㈱に三七年勤務しましたが、今年一月二九年で定年退職します。この案内が一〇月二五日に届きました。次回からもう少し早くお願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

對馬 順哉(96年修士修了) 札幌市南区

○事務局の皆様、いつもありがとうございます。なかなか出席できず、申し訳ございません。

坂本 育美(06年卒) 札幌市白石区

○西井さん、名前を挙げていただいて恐縮です。汗かきべさかき、日一杯背伸びして教育・研究しています。

鈴木 章(76年卒) 千歳市

○一石三鳥型の渡道、すでに七月初旬訪札、二、三年後には同窓会のみ出席による故郷行きも考えたいと思います。皆さんによろしく。

牛島 康明(74年卒) 千葉県千葉市

○現在、福岡にて勤務中です。

今 啓亮(10年卒) 北広島市

○至極元気で晴耕雨読の生活をエンジョイしています。

「同窓会だより」を楽しんでおります。多謝。

常本 勇(55年卒) 札幌市北区

○秦内を一〇月二六日に行けとりました。今の大院講座体制へを知りました。

このことと関係ありますが、卒業生ですでに退職してい

るOBに土曜日などに二コマの「生きた授業」をボランティアで受け持つてもらつたらいいかがでしょうか。私が良ければ、社会福祉の現場経験をもつて退職後、ある大学で社会福祉論とカウンセリング等の講師約一〇年の経歴がありますが(ほけないうちに)。

板谷 國康(58年卒) 札幌市厚別区

○江別市役所に勤務し早四年。現在経済部に席を置き、市政発展に邁進しております。定年も間近となり、第二の人生に夢を馳せることがあります。

對馬 順哉(96年修士修了) 札幌市厚別区

○江別市役所に勤務し早四年。現在経済部に席を置き、市政発展に邁進しております。定年も間近となり、第二の人生に夢を馳せることがあります。

加納 好春(77年卒) 江別市

○北大理学部卒の鈴木章さんのノーベル賞受賞のニュースは、北大卒業者として最高の喜びでした。教育学部も創立六〇年。各分野で果たしてきた社会貢献を誇りに思っています。北大のさらなる発展を祈念します。

玉県 いたま市長、小内副学部長には、ひときわ思い出があります。

所先生は、ロシアからお見えの教育大学教官との懇談会の席上、堪能なロシア語で通訳兼コーディネーターをお務めになり、日露戦争を講座体制へを知りました。このことと関係ありますが、卒業生ですでに退職してい

るOBに土曜日などに二コマの「生きた授業」をボランティアで受け持つてもらつたらいいかがでしょうか。私が良ければ、社会福祉の現場経験をもつて退職後、ある大学で社会福祉論とカウンセリング等の講師約一〇年の経歴がありますが(ほけないうちに)。

板谷 國康(58年卒) 札幌市厚別区

橋爪 幸止 (61年卒) 埼玉県さいたま市
○五〇年前とは違つてフルートを吹く人口が増え、オーケストラをつくり、学生時代と同じ気合いで遊んでいます。

佐々木 伸浩 (55年卒) 札幌市中央区
○いつも連絡いただきながら今年も出席できず相手にいません。体の不自由さは変わりませんが、気力だけは衰えないよう努めています。町内会や各種団体のご厚意でリハビリを兼ね、「言葉で話の種まき」をしています。NHKのアナ時代を思い出しながら…。

藤谷 榮也 (54年卒) 札幌市厚別区
○同窓会だよりを読むと、ふと大学時代を思い起こし、日々の仕事に忙殺される自分を見つめ直す機会となります。都合のため欠席しますが、盛会をお祈りいたします。

金澤 綾美 (03年卒) 札幌市中央区
○一〇月二三日から二六日まで札幌にいました。同窓会が一週間早かつたら出席できましたかもしません。北大の構内をじっくりと見て

高部 哲也 (54年卒) 大学達海教育会
○いつも連絡いただきながら今年も出席できず相手にいません。体の不自由さは変わりませんが、気力だけは衰えないよう努めています。町内会や各種団体のご厚意でリハビリを兼ね、「言葉で話の種まき」をしています。NHKのアナ時代を思い出しながら…。

玉井 春一 (76年卒) 大分県別府市
○この夏の暑さには閉口しました。一ヶ月というのにコスモス満開です。

桜田 嘉子 (56年卒) 札幌市厚別区
○男声合唱を創立して約二〇年続けております。

唐津 愈 (54年卒) 札幌市中央区
○北大の職員になつて早い一年。年々入学してくる学生とのギャップが大きくなります。ただいま育休中です。同窓会幹事さま、いつもご案内ありがとうございました。

和田 昇 (83年卒) 東京都府中市
○二〇〇六年一二月教育基

教育 本法が改悪され、日本の教育は「愛国心・道徳」教育と「格差」教育で戦前回帰しつつあります。戦前・戦後の教育闘争に学び、歴史の新しい段階で、新しい教育闘争を理論面でも実践面でも発展させていくことが重要かと思います。

伊藤 (旧姓・越後) 郁子 (99年卒) 札幌市手稻区
○病氣療養中。

伊藤 隆 (58年卒) 札幌市白石区
○平成二二年一〇月二十五日

渡部 秀清 (72年卒) 東京都杉並区
○会務・総会準備、ご苦労さまです。翌一〇月三〇、三一日「空の記憶」(浜祥子作、鈴木喜三夫演出) 東京公演のため、上京中です。がんばって参ります。

澤口 謙 (69年卒) 札幌市中央区
○「同窓会だより」をお送りいただきました。市教育学部も私もいたころとずいぶんと変わっています。外見は変わりませんが、わつてることを知りました。外見は変わりませんが

黒川 昭和 (55年卒) 小樽市
○元気に過ごしています。

中川 哲男 (66年卒) 札幌市豊平区
○大学時代四年間過ごしただけですが、北海道を心のふるさとと思い、北大が大好きな私にとって、先日の鈴木章さんのノーベル賞のニュースは毛利さんが宇宙飛行士に選ばれたとき以来のうれしさ。記者会見の様子を見つめ、思わずガツツボーザしてしまいました。

小堀 直子 (82年卒) 栃木県宇都宮市
○遠隔地に暮らす高齢の両親の心配をしつつ、自分自身の身の振り方も早めに方向性をつけるべく、決心して、一戸建からマンションに引っ越しました。果たして正解だったのか…と思っています。

鈴木 泰 (71年卒) 北広島市
○いつも楽しくおたよりを読みさせていただいています。皆さまのご活躍がとても刺激になります。

生出 典子 (98年卒) 札幌市南区
○高校三年生の担任をして

います。受験圧力とめざす教育の間で闘っています。

細田 孝哉 (85年卒) 北広島市
○「同窓会だより」毎年あります。

飛田 美由紀 (97年卒) 茨城県ひたちなか市
○「同窓会だより」(月) 第九回北大合唱団OB会の演奏会に出演しました。望んでいた仕事に就きました。鈴木章氏のノーベル賞受賞をお祝いして、「都ズームの森」にも入って「教育学部」の学部案内をもらいました。教育学部も私がいたころとずいぶんと変わっています。外見は変わりませんが、わつてることを知りました。外見は変わりませんが

会務報告 (H22.7.1~H23.8.31)

| 期日 | 会務事項 |
|-------------|---|
| H22. 7. 1 | 平成22年度 幹事会開催。 |
| H22. 10. 5 | 2期、松本 尚志さん逝去につき弔花を送る。 |
| H22. 10. 21 | 役員・幹事・特別会員あて、リテラ・ポブリ発送。 |
| H22. 10. 29 | 平成22年度 同窓会総会・懇親会開催。(於、KKR ホテル) |
| H22. 11. 23 | 同窓会名簿発行に向けて、株廣済堂と委託契約を結ぶ。 |
| H23. 2. 8 | 役員・幹事・特別会員あて、リテラ・ポブリ発送。 |
| H23. 3. 24 | 北大卒業式。学部学位記授与式・謝恩会に竹田会長と斎藤幹事長が出席。同窓会として、ビールとアレンジメントフラワーを寄贈。 学年幹事委嘱。(近藤 悠(コンドウ ユウ)さん、出倉 奈保子(デクラ ナオコ)さん) |
| H23. 6. 17 | 北大連合同窓会会議。竹田会長と斎藤幹事長が出席。 |
| H23. 6. 21 | 平成23年度 幹事会召集。リテラ・ポブリも同時発送。 |
| H23. 6. 23 | 姉崎新学部長・水野社会連携推進委員長と斎藤幹事長が、学部と同窓会の連携について打ち合わせ。 |
| H23. 7. 1 | 平成23年度 幹事会開催。 |
| H23. 7. 5 | 同窓会名簿発行の案内文発送開始。 |

会計報告 (H22.9.11~H23.9.10)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 前期繰越 | 187,675 | 総会時支払(H22) | 130,400 |
| 総会時収入(H22) | 134,000 | 会報作成発送(H22) | 327,942 |
| 会費等収入(料金相殺) | 391,020 | 通信費 | 30,375 |
| 雑収(銀行利息) | 11 | 雑費・消耗品費 | 8,006 |
| | | 名簿作成供託金 | 164,000 |
| | | 慶弔費 | 30,620 |
| | | 交際費 | 10,000 |
| | | 小計 | 701,343 |
| | | *次期繰越 | 11,363 |
| 合計 | 712,706 | 合計 | 712,706 |

* 繰越内訳

| | |
|-------|---------|
| 郵便振替残 | 1,948円 |
| 銀行預金残 | 9,415円 |
| 合計 | 11,363円 |



北大卒業生向けインターネットサービス

北大では、卒業生の皆様にご利用いただけるWebサービス「アットフロンティア」をスタートしました。フリーメールの手堅さで北大ドメインのメールが使って、他の卒業生との連絡機能も搭載。校歌や景歌の演奏データがダウンロード可能なほか、北大発のイベントやビジネス情報も入手できます。

生涯使えるメールアドレスで、他の卒業生や北大と、生涯つづくコミュニケーションを。

生涯使えるメールアドレスで、生涯つづくコミュニケーションを。



利用登録は“北大卒業生”、利用料は無料です。

北大ドメインのメールアドレスを無料でご提供します。

無料で取得できる hokudai.ac.jp ドメインのメールアドレスは、メールソフトからも Web メールとしても利用できますので、フリーメールのように便利なのに、北大ドメインなので高パリューです。利用期限がありませんので、普段使いのメールアドレスとしてご活用ください。もちろん、いつも使う端末や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。

北大の四季やイベント、研究成果やビジネス情報を。

北大で行われるイベント情報や、キャンパスに訪れる四季の様子など各種お知らせを毎月お届けします。北大発のビジネス情報、話題の講演会、国際的な研究成果からサークルの活動まで、多彩な内容でお送りします。

なつかしの景歌や校歌を携帯電話・PC でダウンロード。

あの日歌った校歌や景歌も、時間が経つとうろ覚えに…そんなときは、@Frontier で歌詞やメロディをしっかりチェックしましょう。“北大人”的集まりには欠かせません。もちろん、携帯電話の着信メロディにも使用できます。

登録ユーザ同士で検索して、連絡先を管理。

独自のアドレス帳機能で、他の卒業生との連絡手段として活用できます。連絡先が分からなくなったり相手でも、氏名や学部学科など特定の情報が分かれればメッセージをお届けします。

@Frontierに関するお問い合わせは、北海道大学総務企画部広報課 (info@frontier.hokudai.ac.jp/011-706-2153) までお気軽にお寄せください。

@Frontier 新規登録申請方法

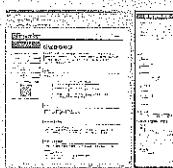
① Web サイトにアクセス

二次元バーコードを携帯電話で読み取るか、携帯電話・PC ブラウザで次の URL を入力してアクセスし「新規登録申請」をクリックしてください。
<http://www.frontier.hokudai.ac.jp/>



② 氏名や卒業学部を入力

登録申請フォームが表示されるので、必要事項を入力して申請手続きを行ってください。



③ アカウント送付

北大事務局により、卒業事実確認を行います（この作業にはお時間をいただく場合があります）。確認完了後、アカウント情報(ID およびパスワード)をメールまたは郵便で送付します（通知方法は申請時の連絡先に E メール・ご住所のどちらを指定したかによって異なります）。



学生支援の「北海道大学カード」

北大人の証明

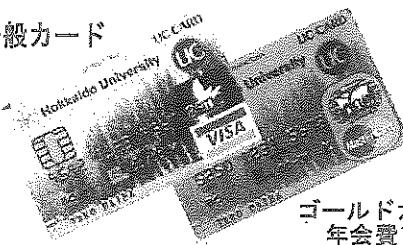
北海道大学連合同窓会が発行する「北大カード」は、
北大人としての証です。

(北大同窓生、在学生父母及び教職員限定)

特典

- 附属図書館の入館証
- 植物園の無料入園証
- 北大カード協力店の割引・優待
- 北大出版会書籍割引
- 希望者へ結婚式への祝電サービス
(総長・連合同窓会長連名による)
- カード会社からの各種サービス など
- (詳細は申込書等をご覧ください。)

一般カード



カードの利用額に応じて提携手数料がカード会社から還元されます。
これを「学生支援資金」として奨学金などの学生支援に活用します。

ゴールドカード
年会費10,500円(税込)

お申込について

1. 専用の申込書を下記あてご請求ください。専用申込書を送付いたします。
2. 専用申込書に所定事項を記入・捺印いただき、ご投函ください。
3. カード会社の審査を経て、お申込から約1ヶ月後にカード会社から配達記録郵便にてご自宅でお送りいたします。

申込書を請求先

北海道大学連合同窓会事務局（北海道大学総務企画部広報課）
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話：011-706-2153

E-mail: kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

※ UCCカードのホームページからも、申込書を請求できます。

(ホームページ下部の「資料請求」からお進み下さい。)

<http://www2.uccard.co.jp/join/college/hokudai.html>